

(町並み版)

※ (町並み版) とは...

プロフィールを作成した27箇所の歴史的資産周辺の景観特性をよりきめ細やかに把握するため、周辺を景観特性ごとにエリア区分し、そのエリアごとに、町並みの特徴や景観形成の方針、建築計画等に求める配慮事項などをまとめたものです。

1 高山寺からの眺望景観

【周辺の特徴】

- ・ 清滝川の渓谷の西側斜面に位置する境内は、周囲を杉や楓の森に覆われている。
- ・ 木々の落葉時には、石水院より対岸の家屋が視認される。



1-1 受付手前から裏参道への眺望
：木々が茂り建築物は見えない。



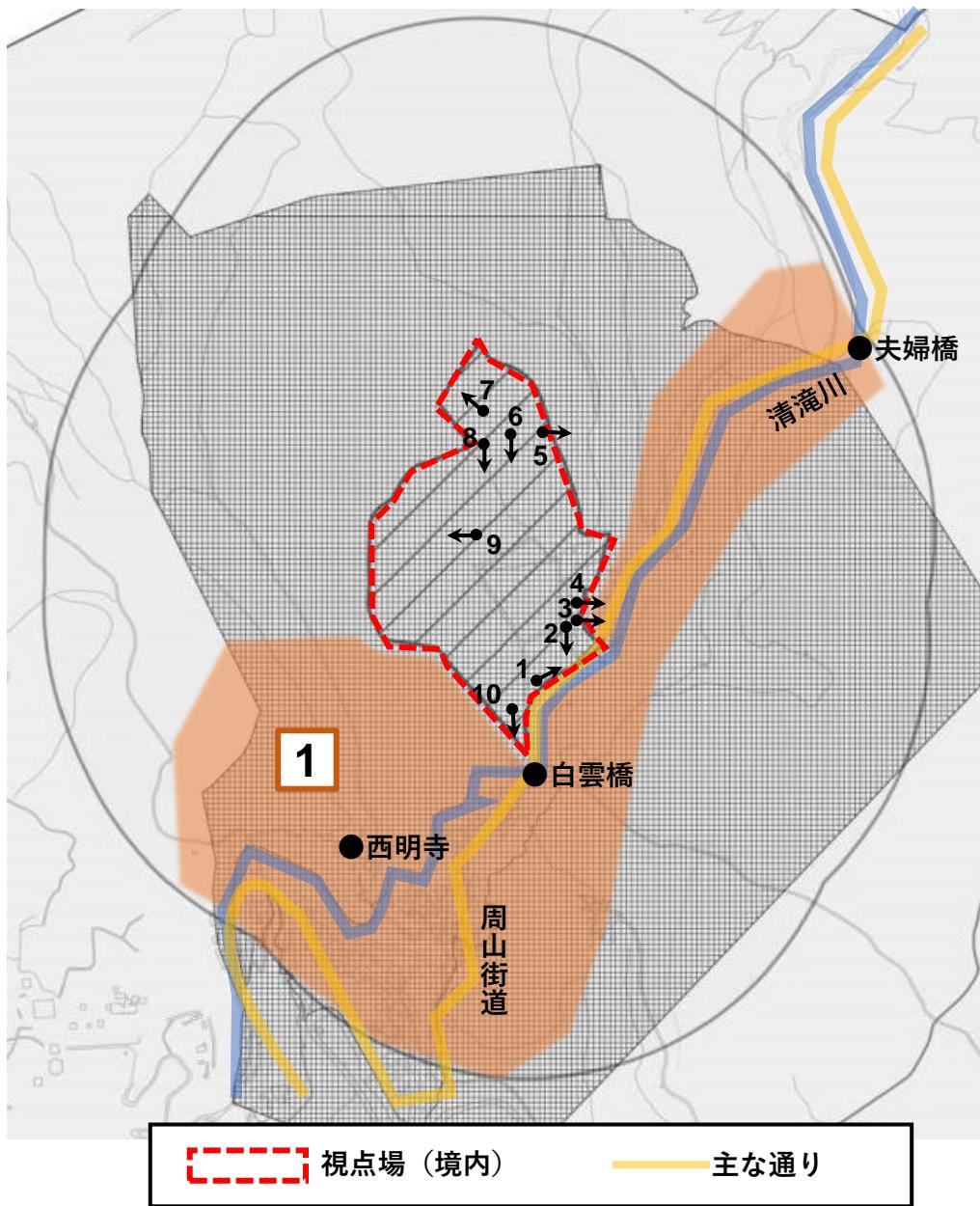
1-2 石水院縁側から南への眺望
：対岸の建築物の屋根が見える。



1-3 御廟から東への眺望
：木々が茂り建築物は見えない。



1-4 金堂横東側の散策路から南への眺望
：対岸の山が望まれ建築物は見えない。



1-5 金堂から東への眺望
：杉木立に囲まれ建築物は見えない。



1-6 金堂前から南への眺望
：建築物は見えない。



1-7 参道から西への眺望
：杉木立に囲まれ建築物は見えない。



1-8 金堂前から南への眺望
：建築物は見えない。



1-9 参道から西への眺望
：杉木立に囲まれ建築物は見えない。



1-10 表参道から南への眺望
：建築物は見えない。

■ 2 高山寺周辺の景観

【周辺の特徴】

- ・ 山林に囲まれるが、高山寺近傍には数件の飲食店舗と市営駐車場が存在している。
- ・ 周山街道沿いの梅ヶ畑の集落には、伝統的な和風建築物が密度高く集積する。



2-1 梅ヶ畑殿畑町の遠景
：斜面に集落が形成されている。



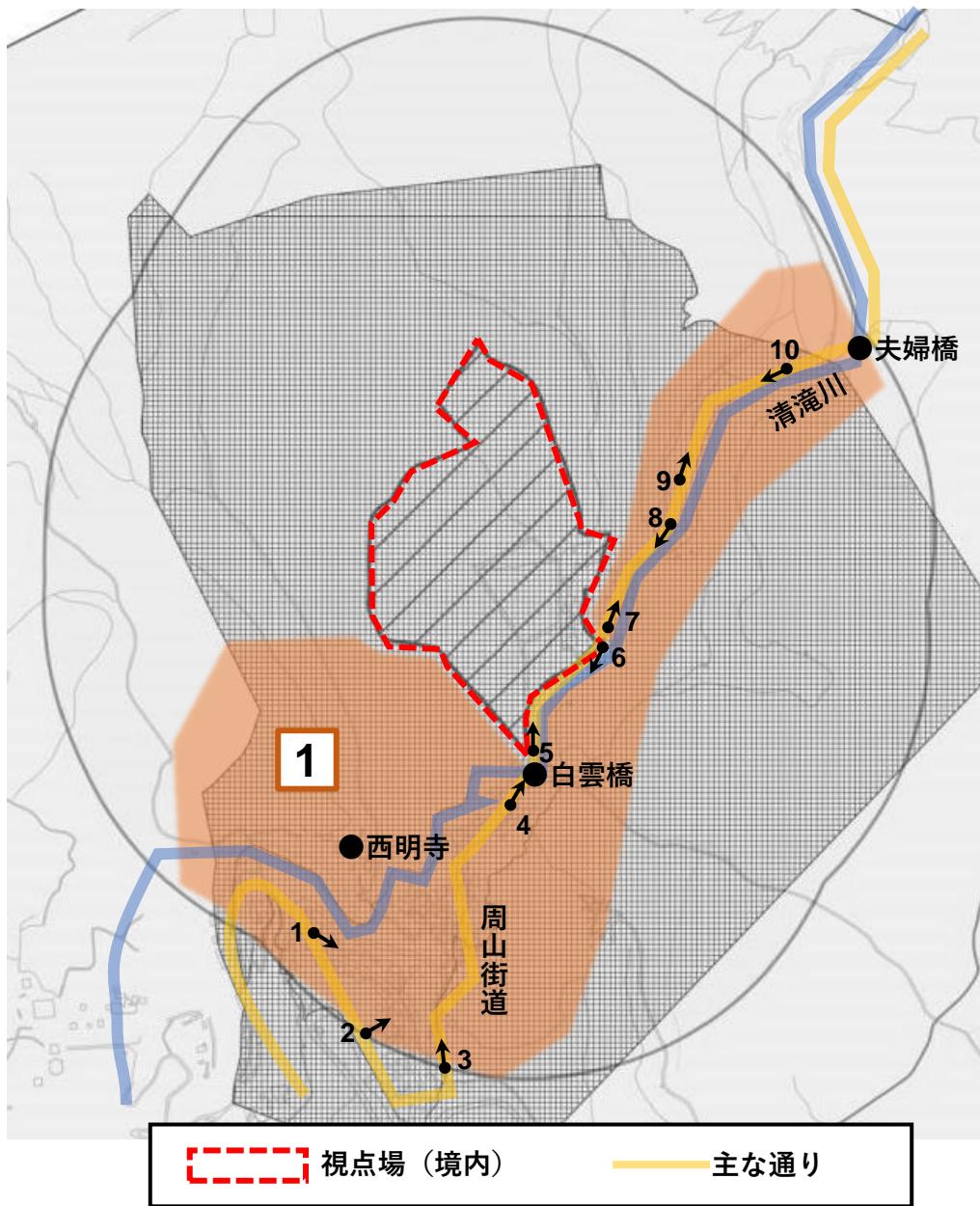
2-2 梅ヶ畑殿畑町及び引地町の眺望
：斜面に集落が形成されている。



2-3 梅ヶ畑引地町の眺望
：道の山側に石段が組み和風建築物が連なる。



2-4 白雲橋南側から北への眺望
：料理屋や民家が見える。



1 視点場 (境内) ——— 主な通り



2-5 表参道口の眺望
：建築物は見えない。



2-6 裏参道口から南への眺望
：建築物は見えない。



2-7 裏参道口付近から北への眺望
：店舗の看板や自動販売機が目立つ。



2-8 市営駐車場以北の国道から南への眺望
：駐車場付近の家屋が見える。

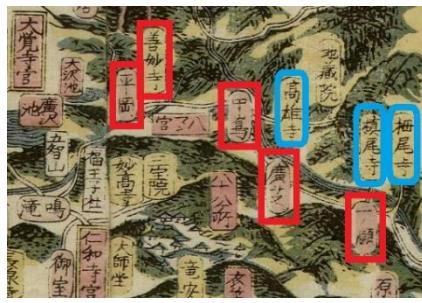
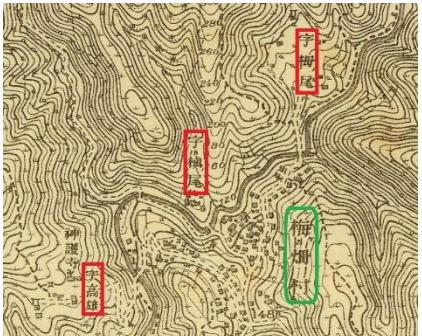


2-9 市営駐車場以北の国道から北への眺望
：建築物は見えない。



2-10 夫婦橋から南への眺望
：建築物は見えない。

3 高山寺周辺の歴史的景観の特徴と建築計画への配慮事項

1 周山街道沿い		参考写真等				
ア エリアの歴史等	<ul style="list-style-type: none"> ・梅ヶ畑郷は江戸期の広域地名で「京都府地誌」によると平岡・善妙寺・中嶋・一ノ瀬の4か村の総名を山城国葛野郡梅ヶ畑郷と称したという。 ・江戸後期の古地図には、三尾のほか「一ノ瀬」「廣芝」「中嶋」「善妙寺」「平岡」の記載が見られる(図3-1)。 ・村々は明治7年に合併して「梅ヶ畑村」となった(図3-2)。 	 <p>3-1 繁榮京都御繪圖 文久改刻(文久3年(1863)) 図中では高山寺は楢尾寺、西明寺は楨尾寺と表記されている</p>				
イ 町並みの特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・高山寺は清滝川の清流沿いの自然豊かな楯尾に位置する。高山寺の手前の清滝川右岸には西明寺及び神護寺があり、川沿いには料理旅館等が、また門前町として梅ヶ畑村の集落が伝統的な佇まいを見せる。 ・周山街道が宇多野から峠を超えて清滝川沿いに合流するため高低差があり、狭い道が折れ曲がって川沿いに降りる。梅ヶ畑殿畑町などはいぶし銀瓦屋根の伝統的和風建築が密集して傾斜地に集落を形成し、道路の山側に雛壇状に川原石の立派な石垣が高く組まれ、歴史の厚みを感じさせる。 ・周山街道は国道162号線として京北町から福井県小浜市に抜け、道路は2車線で広くはないが車の往来は多い。林業が盛んな地域で国道沿いにも北山杉や台杉の美しい林が続くが、その一方で近年の土砂崩れ跡も散見され、崖崩れ及び樹木の倒壊で樹林層が薄くなり高山寺の建築物も国道沿いの駐車場から垣間見える。 <p>文化財等：高山寺石水院(国宝)、高山寺如法経塔、神護寺大師堂、高山寺境内(史跡)</p>	 <p>3-2 愛宕山(明治22年(1889)) 高山寺付近に「字楯尾」の表記</p>  <p>3-3 国道162号線から集落への眺望。谷間及び社寺の反対斜面に家屋が集まる。</p>				
ウ 景観形成方針	<table border="1"> <tr> <td>風致地区</td> <td>高山寺・高雄特別修景地域</td> </tr> <tr> <td>山林又は溪谷が重要な要素となった優れた自然的景観を保全する。</td> <td>周山街道沿道の山林、清滝川の溪谷、楓林などの自然と、神護寺、西明寺、高山寺等の伽藍と門前集落が作る、自然と歴史の調和した風景の保全を図る。</td> </tr> </table>	風致地区	高山寺・高雄特別修景地域	山林又は溪谷が重要な要素となった優れた自然的景観を保全する。	周山街道沿道の山林、清滝川の溪谷、楓林などの自然と、神護寺、西明寺、高山寺等の伽藍と門前集落が作る、自然と歴史の調和した風景の保全を図る。	 <p>3-4 市営駐車場から高山寺への眺望 樹林層が薄く高山寺の境内の建築物が見える。</p>
風致地区	高山寺・高雄特別修景地域					
山林又は溪谷が重要な要素となった優れた自然的景観を保全する。	周山街道沿道の山林、清滝川の溪谷、楓林などの自然と、神護寺、西明寺、高山寺等の伽藍と門前集落が作る、自然と歴史の調和した風景の保全を図る。					
エ 求める建築計画等に配慮事項	和風を基調としつつ、形態及び意匠が周辺の風致状況から突出した印象を与えないものとする。高山寺及び高雄の集落地では、山に囲まれた自然景観と調和した、神護寺、西明寺、高山寺等の寺院の門前景観及び集落景観を保全するため、建築物は、日本瓦ぶき和風外観とする。					

- 3-1 「繁榮京都御繪圖 文久改刻」国際日本文化研究センター (<http://www.nichibun.ac.jp>)
- 3-2 「愛宕山」国際日本文化研究センター (<http://www.nichibun.ac.jp>)